



Shirakawa since 2001

2020
秋号
VOL.77



通信

「古墳時代」？どんなくらし？



挑戦しよう体験活動室メニュー はにわは何色？？

ささめだいら さおばかり おもり
収蔵資料紹介 矢吹町笛目平遺跡出土 棒秤の錘
どうして大切？文化財

「古墳時代」? どんなくらし?

企画展「ようこそ! 古墳時代へ - 阿武隈川上流域に暮らした人びと -」の見どころを紹介します。

文: 阿部 知己 (学芸課副主幹)

《どんなくらしか見てみよう!》

古墳時代は1700年前頃から1300年前頃まで続きました。当時の人びとは、どんな家に住み、どんな衣装を着て、何を食べていたのかな?さまざまな疑問がありますよね。遺跡から出土した土器や埴輪などの資料から、どんなことがわかるのかな?例えば、当時の「住」の様子が、少しだけでもわかるように、奈良・河内・羽曳野・高木の4つの古墳で、住居をもとに、家の中の様子を少し再現してみました。古墳時代の人々は、どんな食材を使って、どんな料理をつくっていたのかな?と想像してみるのもおもしろいかもしれません。

《おねがいごとはなに?》

人々は、暮らしの中でさまざまな場面で、いのりをささげています。あるときは、ご先祖様に子孫の無事をいのり、またあるときは、豊穢を願い天に、または山や川に、いのりをささげてきました。古墳時代の人々も、きっと現代の人々と同じように、先祖や、自然にいのりをささげていたのかもしれませんね。本宮市高木遺跡からは、おいのりの時に使った粘土で作った勾玉などが見つかっています。

《入口をはいるとそこは…》

人は死を迎えると、お墓に葬られます。それは、いつの時代も同じのようです。古墳時代には、古墳と呼ばれるお墓に葬られた人もいました。古墳時代の人々は、あの世でのくらしき、どのように思い描いていたのでしょうか?自分が生きていた時よりも、もっと豪華で贅沢に、願っていた人もいたのかもしれませんね。今回の企画展を通じて、古墳時代について何か発見があれば、とてもうれしいです。



力士埴輪 (複製)
東嶺村原山1号墳
(福島県立博物館収蔵)

挑戦しよう 体験活動室 メニュー

文: 芽井 康吉 (専門学芸員)



力士埴輪イメージ

はにわは何色??

まほろんには、「体験活動室」という部屋があります。ここには、体験活動をサポートするアテンダントが常駐しており、感染症対策の制限はあるものの、遺跡や文化財にちなんだ、毎月変わることで、メニューを予約無しで体験することができます。

10月と11月の体験メニューは、9月26日(土)に開幕の企画展「ようこそ古墳時代へ」に開幕したもので、「ミニはにわ赤彩体験」を行なう予定です。10月は、泉嶺村原山1号墳出土の力士埴輪、11月は、矢吹町鬼穴古墳出土の家形埴輪をモデルにしたミニ埴輪に赤色顔料を塗っていく体験です。

ところで、みなさんは、埴輪の色についてどんなイメージをお持ちでしょうか?おそらくオレンジ色の焼いた土の色を思い浮かべる方が多いのではないかでしょうか。もちろんベースの色はオレンジ色なのですが、埴輪の中には、赤色に塗られたものが見

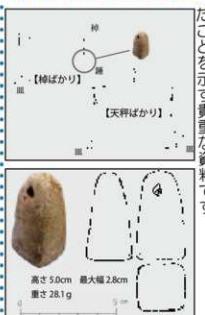
られます。今回の体験でモデルにした原山1号墳出土の力士埴輪は全身真っ赤に塗られていたようですし、鬼穴古墳出土の家形埴輪では、連続する赤い三角形が描かれています。

古墳時代の人たちは、赤色は邪魔を払う色と考えていたようで、埴輪以外にも、古墳の埋葬施設などに赤い顔料が多用されています。

そういえば、疱瘡除けの赤べこは、その名通り赤いのでしょ? 日曜朝のスーパー戦隊のリーダーも決まって赤ですから、赤色が悪を退けるイメージは現代まで引き継がれているのではないかでしょうか。



家形埴輪イメージ



左下は、矢吹町鬼穴古墳から出土した「左上」。各地の普及状況は、遺跡から出土する埴輪の分布から知ることができます。矢吹町鬼穴古墳から出土した「左上」は、政令によってはそれまでの天秤ばかりでなく、唐の制度にならつて、重さの統一基準の情報が伝播し、新たな計量具が普及したこと示す貴重な資料です。

収蔵資料紹介
矢吹町
古墳時代から平安時代
までにわたって、おもに
樟木の鐘
文: 萩原 祥夫
(専門学芸員)

律合国家が誕生する
時代には、唐の制度にならつて、
重さの統一基準として、計量具が普及
しました。これは、今までの天秤ばかり
ではなく、唐の制度にならつて、重さの統一
基準の情報が伝播し、新たな計量具が普及
したこと示す貴重な資料です。

どうして大切?

文化財

そもそも文化財って?どうして大切?そんな疑問を考えます。

文:山元 出(芸芸課副主幹)

覚えている人も多いと思いますが、先日、タケノコ掘りに来た近所の住人が、古墳から埴輪を無断で掘り出し、後で修復して元の場所に戻したというニュースがありました。「どうしてわざわざそんな大変そうなところでタケノコ掘りを」と思う人もいると思いますが、実は「文化財」って結構身近にあるものなんです。

そもそも「文化財って何ですか?」という質問もあるでしょう。

文化財を守るために法律「文化財保護法」に示された内容をまとめたものが、下の図です。きわめて簡単にいうと、昔々のご先祖様から今暮らす私たちに伝えられたモノやワザ、祭などの行事、習慣、風景や景観、そしてこれらの記録といったものが文化財となっていくものと言えるでしょう。



こういったものは、皆さん
が住む地域や場所にもいろいろ残されてきているものだと思います。
そしてこれらは、
その場所がどのように成り立ってきたのか、自分がどのような歴史や暮らしの中で生まれ、育ってきたのかを教えてくれるものとなります。ですから、文化財は今を生きる私たちのためだけでなく、未来の人たちのためにも守っていかなければならぬのです。

まほろんSNS

YOUTUBE

チャンネル登録してね



INSTAGRAM

いいね! & フォローしてね



まほろんの主な今後の予定

9/26 (土) ~ 12/13 (日)

企画展「ようこそ! 古墳時代へ」

一阿武隈川上流域に暮らした人々」

10/31 (土)・11/1 (日)

アクアラバーン (移動水族館) がやってくる!!

11/1 (日) ~ 11/29 (日)

まほろん感謝月間

11/6 (金)・11/7 (土)

実技講座 土器づくり初級編

11/21 (土)

文化財講演会

12/19 (土)

館長講演会

※新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により、行事予定が変更となる場合があります。

※講演会・実技講座は事前予約制です。

詳細は、お問合せ頂くか、まほろんのホームページをご覧ください。

編集後記

埴輪だけのまほろん通信になりました。「埴輪はにわにわ」と考
えていたい気分にならいますが、愛着も

します。きっと右っぽうで書いて
ている気分になりますが、愛着も
ないと、なぜか思えませんか? 10月からは自
分で埴輪に色を付けることができ
ます。

まほろん
通信
vol. 77

令和2年10月14日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30まで)

お問い合わせ

休館日 月曜日 (月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日ですが、GWとお盆期間中は開館します) / 国民の祝日の翌日 (土・日曜日に当たる場合は開館 / 年末年始 (12月 28 日 ~ 1月 4日))

入館料 無料 (体験学習の内容によっては、材料費が必要な場合があります。)

まほろん

福島県文化センター春日部

Tel 961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

Fax 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ [まほろん](#)

